

皆さまとともに
実現できた

活動実績



リン・シュンロン(林舜龍)「国境を越えて・海」Photo:Yasushi Ichikawa

瀬戸内国際芸術祭

島々の活性化や交流人口の増加、芸術文化によるにぎわいづくりのほか、世界に向けて瀬戸内海や香川を情報発信していくため、2010年から3年ごとに瀬戸内国際芸術祭を開催しています。アートを介して様々な人が集い、地域の人々と交流、協働する中で、地域の活性化や本県全体のイメージアップなどに取り組みました。



↑来場者でにぎわう女木島



小豆島島鯉の販売促進イベント

水産振興

↑小豆島島鯉

「消費者の五感が求める水産物の生産と消費拡大・販売強化」を図るため、香川の特徴を生かした高品質で特色あるオリーブハマチ等の開発・生産拡大や、売れる地魚としてサワラ等の資源管理型漁業・栽培漁業の推進に取り組みました。また、平成28年度からは「小豆島島鯉」の商品開発とブランド化に取り組んでいます。



クルーズ客船

交流人口の拡大

「香川せとうちアート観光圏」の整備を進め、香川せとうちアートのブランド化を推進するとともに、本県特有の様々な魅力等の発信や積極的な誘客活動、またMICEやクルーズ客船の誘致活動を行いました。さらに、「観光香川おもてなし運動」を展開し、観光案内所での情報提供や外国人対応の充実など、観光客の受入環境の向上に取り組みました。



←観光案内所(香川・高松) ツーリストインフォメーション



オリーブ地鶏

オリーブ産業の基盤強化



↑新たに植栽されたオリーブ園

オリーブ産業の総合的な発展を図るため、平成28年に「かがわオリーブ産業強化戦略」を策定し、オリーブの生産拡大やブランド力の強化、オリーブ商品群の開発などに取り組んだ結果、平成29年産オリーブの作付面積が200ha超まで拡大しました。また、平成30年3月に「オリーブ地鶏」が新たなブランドとして加わりました。

一人ひとりの本気が、
この香川を熱くする!

たにひさ 谷久 こういち



ごあいさつ

私の県政活動に対しまして、日ごろから格別のご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。今年4月には瀬戸大橋開通30周年を迎え、この間の県の財政規模は約1.5倍にまで拡大していますが、一方で、少子・高齢化による人口減少が進んでおり、地域活力の維持、発展に向けて様々な課題が山積しています。このような難局を乗り切っていくためには、「信なくば立たず」というように、政治を行う者が住民からの信頼を得ることが何よりも大事であり、将来の夢をきちんと描き、心を一つにして目標に向かっていかなければなりません。私は、県民の皆様が安全で安心して暮らせるよう全力で取り組んでまいり所存でございますので、より一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

ココに全力! たにひさ 谷久 こういちが取り組む **最優先課題!**

Top priority 1 /

健康長寿の産業化・地域ブランド化推進事業

先端技術を有する研究機関などとの連携をより一層深めながら、事業化を目指して研究を進めるとともに、得られた成果を発信・普及することにより、本県の地域産業の活性化や健康長寿の地域社会の実現、ブランドイメージの確立に取り組めます。

↑土庄町植物栽培システム研究所「小豆島やさい工房～シーサイドファーム～」

Top priority 2 /

安心できる医療の充実確保

医療ニーズが変化する中、病床機能の分化・連携を積極的に促進するとともに、良質かつ適切な医療を持続可能な形で効率的に提供する体制の確保に努めます。また、新たに骨髄等提供者への支援等を行うとともに移植医療の普及啓発をより効果的に推進します。

←医学生向け合同説明会の開催

Top priority 3 /

確かな学力の育成

小・中学校では、先導的に研究に取り組む学校をモデル校として指定するとともに、香川の教育づくり発表会等での成果の普及を図り、学校の教育力の向上に取り組めます。高等学校では、新学習指導要領の実施に向け、教員への研修等を通して指導力の向上に取り組めます。

←香川の教育づくり発表会

Profile

経歴

- 1968年1月20日生まれ
- 2002年 (社)小豆島青年会議所 理事長
- 2006年 (社)日本青年会議所 四国地区香川ブロック協議会 会長
- 2014年 文教厚生委員会、交流促進特別委員会
- 2015年 文教厚生委員会、交流促進特別委員会
- 2016年 経済委員会、地方創生特別委員会
- 2017年 総務委員会、交流促進特別委員会

現在の役職等

文教厚生委員会、総合防災対策特別委員会、議会運営委員会、香川県議会自由民主党議員会政務調査会長

趣味

サッカー、フットサル、スポーツ観戦

座右の銘は
「常念実現、素心深考」



保守本流の責任を全力で実行します!

- 1 経済対策に全力!
(景気対策・雇用対策・中小企業振興・農林水産業振興)
- 2 子育て支援対策・教育環境の充実に全力!
- 3 交流人口の拡大による地域の活性化に全力!
- 4 防災対策等危機管理体制の拡充に全力!